

内閣府自殺対策推進会議
齋藤友紀雄委員提出書類

1. いのちの電話でも
救急救命センターでも未遂者が多い 齋藤友紀雄
2. FD「自殺予防いのちの電話」統計 岡本 正子
3. 地域における自殺予防活動 夢ら丘 実果

報告者:

日本いのちの電話連盟 常務理事 齋藤友紀雄
日本いのちの電話連盟 事務局長 岡本 正子
画家・自殺予防市民活動家 夢ら丘 実果
平成20年 5月22日

いのちの電話でも救急救命センターでも未遂者が多い

フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」背景表の意味するもの

昨年度は閣議決定された「自殺総合対策大綱」①のなかで、『世界自殺予防の日』（9月10日）が、わが国でも制定され、しかも9月10日に始まる1週間を『自殺予防週間』と定められた。この結果、いのちの電話では従来12月初旬の1週間だけ実施してきたフリーダイヤル『自殺予防いのちの電話』を、世界自殺予防の日に移行、その後は毎月10日、念2回実施することになり今日に至っている。稼働率がきわめて高く、半年で17,000件余りと、従来の年間相談数をはるかに越えている。④

治療歴、自殺未遂歴のある利用者が多い

男性が女性を上回り、中高年というよりも30、40代の比較的若い中年男性が多く、しかも心身の疾患を問わず80%に治療歴ありか、現在治療中である。また自殺志向のある者に限定してもこの比率はそれほど差異がない。また注目すべきは、未遂者は精神疾患だけでなく身体疾患も少なくない。自殺の危険因子はうつ病などの精神疾患だけではない。

昨年同様未遂に関するデータとして、2,527件を得たが、自殺を訴えた者のほぼ半数に未遂歴があった。東京いのちの電話の医師ボランティアによる「医療相談」でも創立以来未治療群よりも治療群が多い。治療群についてはセカンドオピニオンを求めるグループと、治療を受けているにもかかわらず病気が思わしくないと訴える事例が多い。③

横浜市立大学附属市民総合医療センターの高度救急救命センターは、搬送された自殺未遂者すべての診療を実施、心理的危機介入、精神医学的介入と評価・治療、ソーシャル・ワークを行うなど、貴重な調査を積み上げてきた。②ここで得られた未遂者についての調査研究は、いのちの電話とかなり共通性がある。それは搬送される前の精神科受診歴が7割から9割を占めているという実態である。自殺危機は未治療群だけに高いのではなく、治療群でもかなり高率に自殺危機は発生するのである。

精神科看護と地域レベルでの取り組みが必要

ここで強調すべきは、精神医療側の精神科看護における未遂あるいは治療後のケアと、地域レベルの取り組みである。このような専門性と、いのちの電話や自死遺族ケアなど地域におけるさまざまな社会資源が協働することが自殺防止活動の理想である。

文献：

①内閣府「自殺総合対策大綱」2008年7月30日

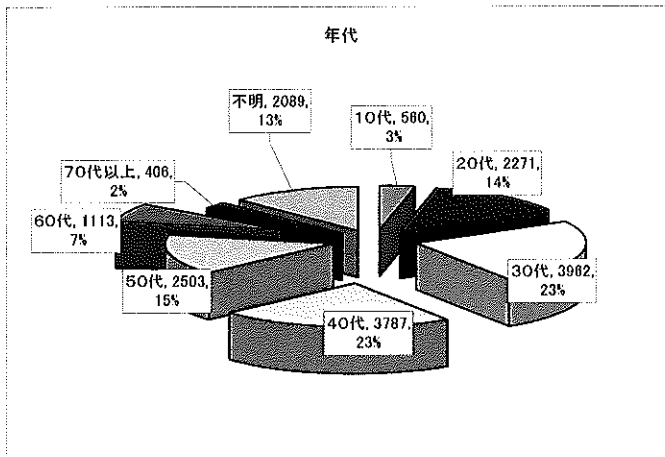
②河西千秋、山田朋樹、中川牧子「救命救急センターを拠点とした自殺予防への取り組み」

Depression Frontier 2007 Vol.5 No.1

③社会福祉法人いのちの電話事業報告「電話医療相談」2007年度、2008

④日本いのちの電話連盟「FD・自殺予防いのちの電話」2007年度報告、2008

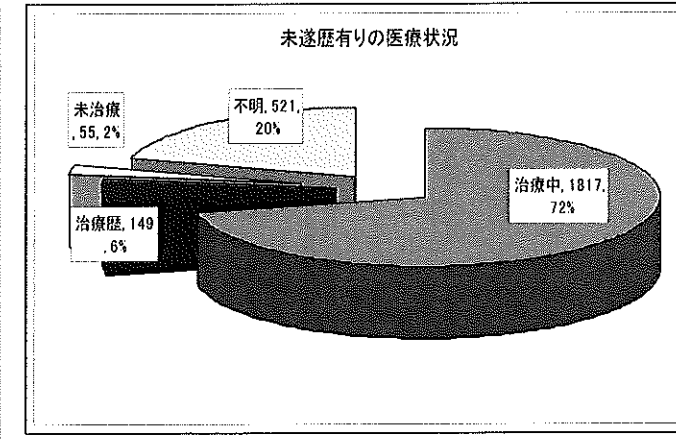
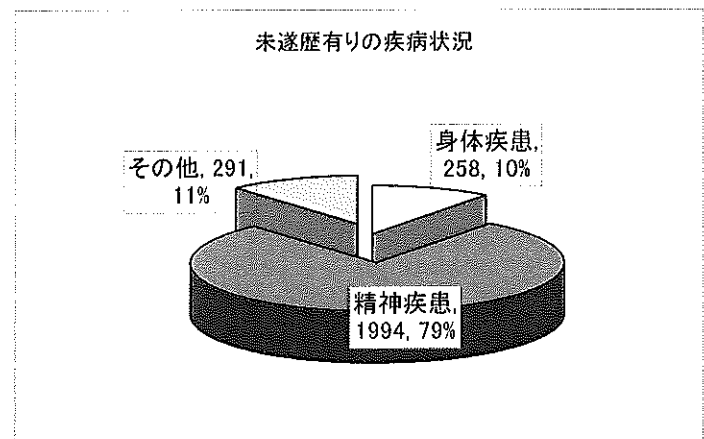
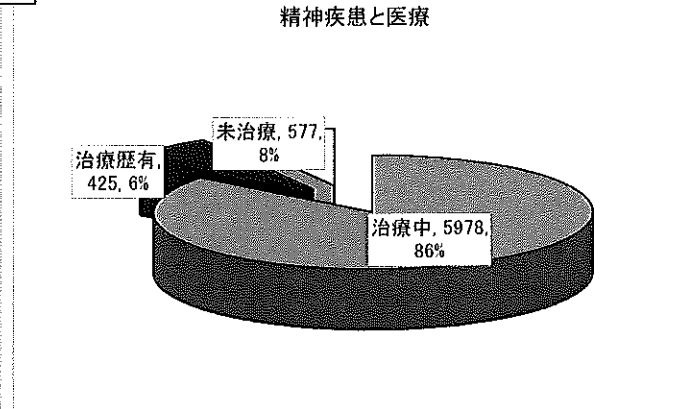
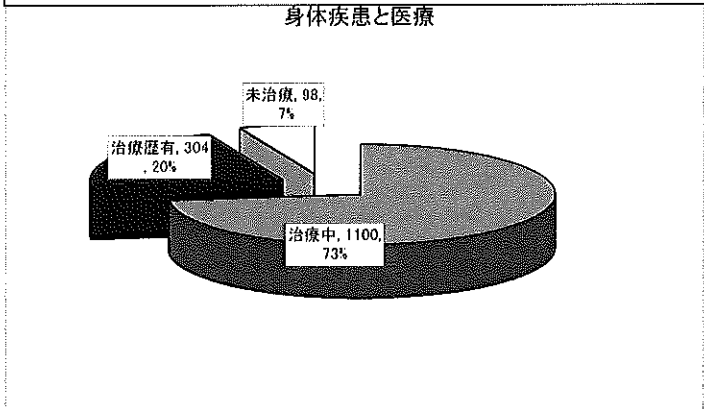
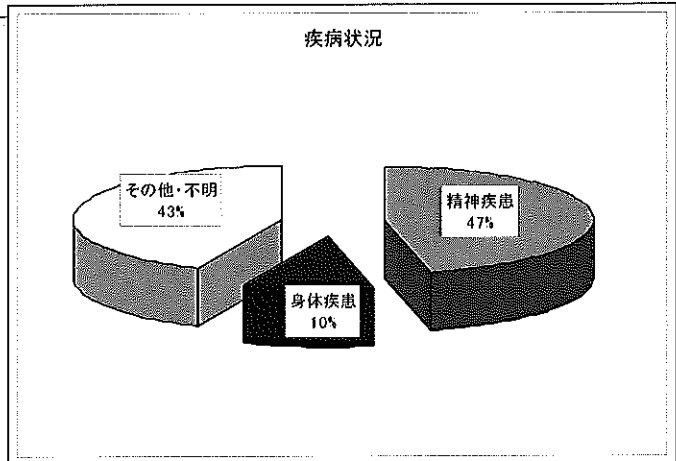
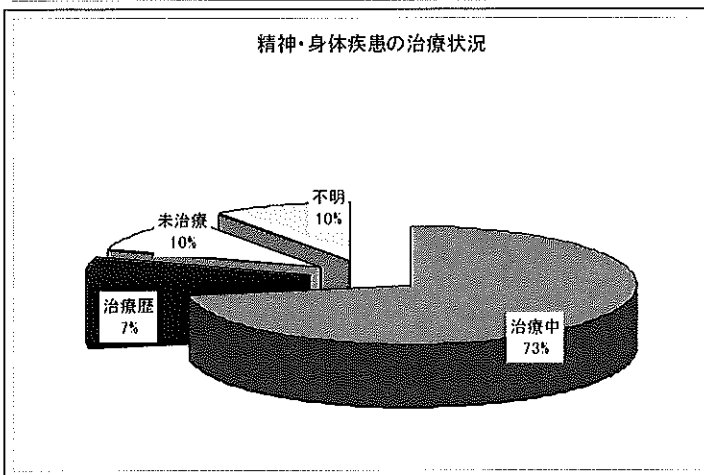
項目	番号	男女		計	全国	全国地域から受けた県別回線数				
		男	女							
性別 (I)	1	男	10014			1 北海道 431				
	2	女		6780	17262	2 青森 197				
年代 (II)	3	10代	362	197	560	空白	3 秋田 156			
	4	20代	1307	957	2271		4 岩手 186			
	5	30代	2408	1538	3961		5 宮城 289			
	6	40代	2354	1410	3787		6 山形 157			
	7	50代	1309	1184	2503		7 福島 142			
	8	60代	509	602	1112		8 新潟 459			
	9	70代以上	143	261	406		9 長野 1029			
	10	不明	1499	578	2089		10 群馬 467			
	自殺に関する状況 (III)	11	念慮	2672	2417	5089	11 栃木 269			
		12	危険	222	251	473	12 茨城 354			
13		予告	102	58	160	13 埼玉 631				
14		実行中	23	25	48	14 千葉 470				
自殺未遂 (IV) 自殺未遂有 40代30代50代の順	15	あり	1395	1132	2527	15 東京 1760				
	16	なし	2195	1826	4021	16 神奈川 1372				
	17	不明	4011	2322	6333	17 山梨 108				
健康 (V) 身体疾患治療中 30代 40代 50代の順 精神疾患治療中 40代 30代 50代の	18	身体疾患	982	789	1771	18 静岡 382				
		1・未治療	47	50	97	19 岐阜 220				
		2・治療中	590	503	1093	20 愛知 796				
	19	3・治療歴有	168	134	302	21 三重 373				
		精神疾患	4156	3813	7969	22 京都 364				
		1・未治療	293	282	575	23 奈良 110				
	20	2・治療中	3112	2863	5975	24 大阪 988				
		3・治療歴有	204	220	424	25 兵庫 689				
		20	あり	1863	1434	3297	26 和歌山 88			
入院中・入院歴 (VI)	21	なし	1394	1340	2734	27 鳥取 82				
	22	不明	4552	2693	7245	28 島根 83				
	23	あり	4169	4008	8177	29 岡山 589				
通院中・通院歴 (VII)	24	なし	920	635	1555	30 広島 377				
	25	不明	3083	1226	4309	31 徳島 99				
	26	あり	3051	4083	7134	32 香川 189				
家族・同居人 (VIII)	27	なし(ひとり暮らし)	3318	1625	4943	33 愛媛 140				
	28	定職	2033	1086	3119	34 高知 339				
職業 (IX)	28	1・サラリーマン	610	216	826	35 福岡 372				
		2・自営業	127	44	171	36 佐賀 35				
		3・パート	221	336	557	37 長崎 210				
		4・フリーター	140	55	195	38 熊本 226				
	29	無職・失業	4360	2423	6783	39 大分 304				
	30	主婦	18	2025	2043	40 鹿児島 121				
	31	孤独・生き方	5053	3646	8727	41 沖縄 339				
生活・経済 (X) 複数の○可	32	経済苦	1345	796	2141	空白	42 携帯 約 3310			
		1・借金	137	125	263	1	43 不明 120			
		2・サラ金	35	18	54	1	44 石川 100			
		3・倒産	31	17	48		45 富山 257			
		4・失業	306	79	387	2	46 福井 72			
	5・リストラ	48	27	76	1	47 滋賀 269				
	33	介護・家族の病気	321	507	828	5	48 山口 50			
	34	離婚・離別・死別	516	573	1089	4	49 宮崎 108			
	35	子どもの問題	129	460	589	4	新聞			
		1・病気	14	104	120	2	男 女			
2・非行		9	30	39		389 408 798 空白4				
3・ひきこもり		12	30	42		朝日 19 38 57				
フリーダイヤル情報の 入手方法(ii)	41	ラジオ	142	129	271	2	読売 22 25 48			
	42	テレビ	427	424	851	9	毎日 4 6 10			
	43	ポスター・カード	235	228	463	1	地方紙 87 65 152			
	44	インターネット	202	160	362	1	記事 1 4 6			
						45	その他 487 468 955 4			
						46	不明 4969 3012 7981 31			



背景票からのフリーダイヤル受信状況 全国50箇所のセンターによる50台(07年9月～08年3月毎月10日08:～翌日08時までの24時間体制)総受信時間6190時間

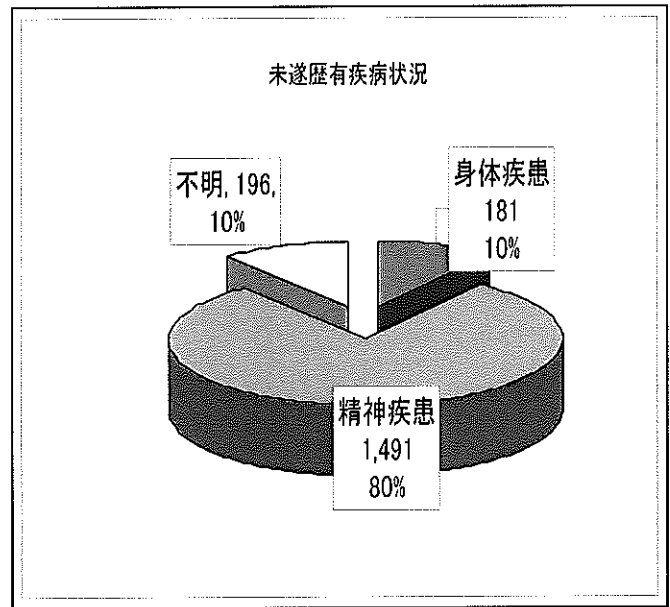
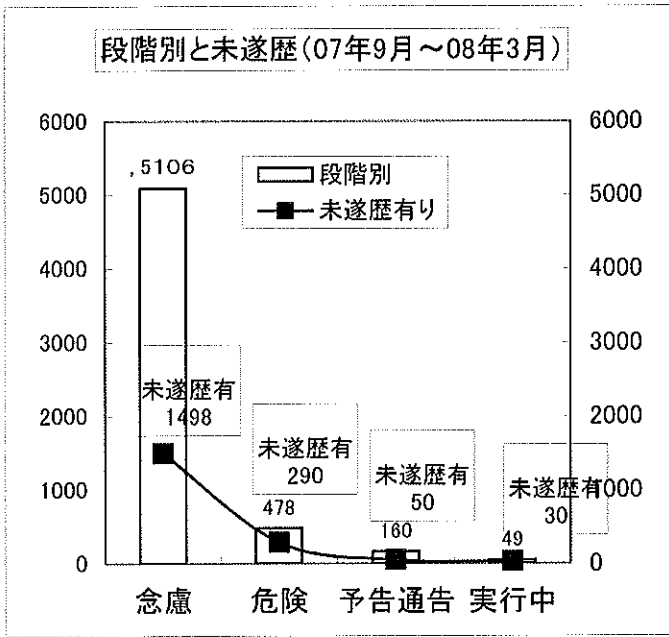
送受信件数17,154件 内自殺志向件数5,753件(33.5%)

(グラフは背景票の数字であり、通常の統計の数字と多少誤差があります。)

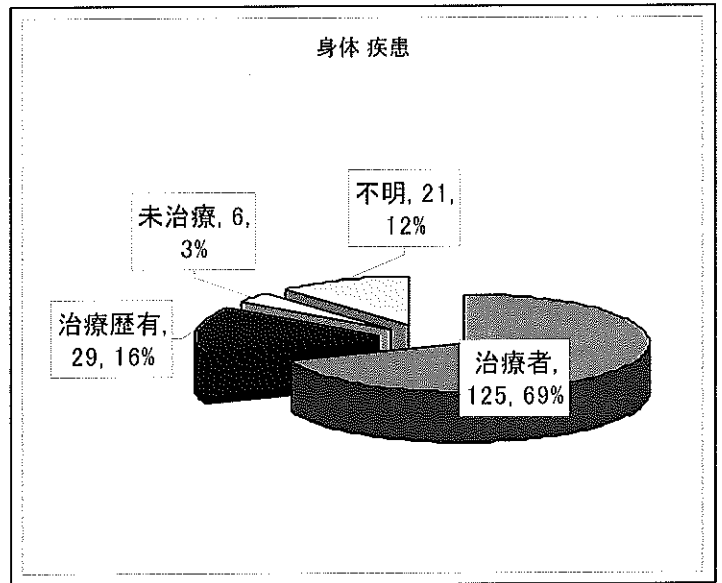
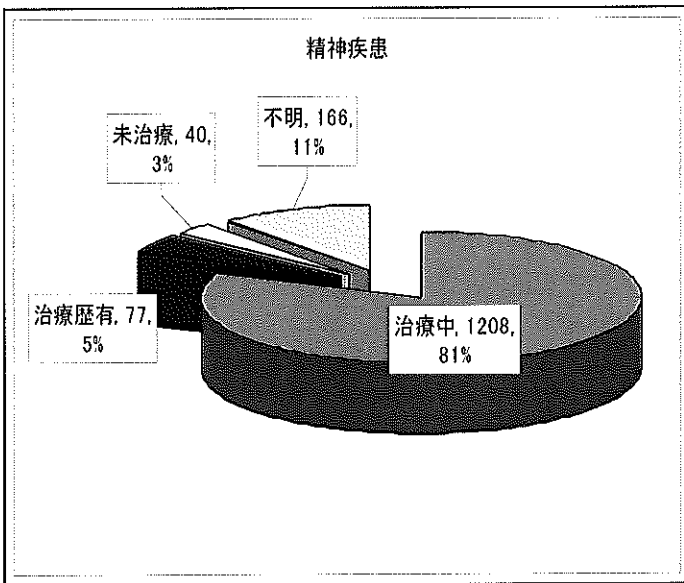


自殺に関する状況(念慮:危険:予告:通告:実行中)
 受信件数5,793件中の未遂歴有りの1,868件の疾病背景

(注:無回答もありそれぞれの数値は前ページ
 背景票と一致していません。)



1,868件中状況



自殺志向(念慮・危険・予告通告・実行中)の未遂歴有りの年代

年代	全体	男	女
10	41	29	12
20	258	98	159
30	498	253	241
40	584	383	195
50	244	132	110
60	81	25	56
70	48	9	39
不明	114	63	51

市区町村など地域における自殺予防活動

報告: 夢ら丘 実果

志木市「こころの安全週間」

最近、子どもの自殺予防を意図した絵本「カークンと森のなかまたち」を出版した夢ら丘実果氏が、志木市の「こころの安全週間」で、絵本読み聞かせの件で話したところ、志木市教育委員会が小学校の子どもたちに、絵本読み聞かせすることに決定した。

宗岡第三小学校(048-471-2244)

2008年5月12日

9:30~10:15宗岡第三小学校 (6年1組39名)

夢ら丘実果氏 読み聞かせ

斎藤友紀雄氏 解説

11:50~12:40志木第二中学校 048-473-2379

(1年 組クラスは決まっています37か38名)

杉並区「自殺予防週間」(企画中)

斎藤先生にお送りさせていただいた添付資料は、杉並区の中学校校長会で配布された資料で、教育分野での取り組みです。その他に、保坂先生の講演会の他、高齢者向けのウォーキングのイベントや中央図書館での「私を助けたこの一冊」というテーマでの関連図書展示や、街頭キャンペーンなどの計画があるとお聞きしています。うつ病の相談や、多重債務者の相談コーナーも計画されているとのこと。区の広報(5/1号)とHPで紹介することです。HPからは、関連の活動を行っている団体にリンクを張ることでした

杉並区での「自殺予防週間」については、まずは地域保険課の皆川様

minagawa-takehit@city.suginami.lg.jp から斎藤先生にご連絡が入ると思います(保坂先生と吉澤さんから、先生にご協力下さるとお聞きしましたので、連絡先をお知らせしてあります)ので、いろいろとご指導いただければと思っております。宜敷くお願い申し上げます。

授業の流れをどうするか各校と連絡を取り、斎藤先生にご報告させていただきたいと思っております。授業時間が短く、その中で絵本朗読、先生と生徒の意見交換、最後の感想文製作と発表に十分な時間を充てる必要があると思っておりますので、お伝えしておりました通り、先生にお話ししていただく時間も5~10分となると思っておりますが、内容の濃い授業ができればと思っております。先生に、絵本の内容について、いのちの電話についての話等していただければと思っております。宜敷くお願い申し上げます。

予定:2008年5月19日朝

杉並区立第六小学校の鈴木校長先生から、学校のHPを斉藤先生にお知らせ下さいとのことでしたので、ご連絡申し上げます。

<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi6shou/index.htm>

鈴木校長先生のお話しでは、5/19(月)の全校朝礼から1時間目(8:30~9:35)を利用して、自他のいのちを大切にすることを育む教育を実施したいとのことですが、斉藤先生に、全校朝礼の時間(9:30~9:50)の間に、10分でもお話しをしていただきたいとおっしゃっています。斉藤先生のお話の後、私が絵本の読み聞かせとお話しをして、さらに各教室にて、各担任の先生方がまとめのお話しをした後に、子供たちが感想製作発表する流れが自然とのことでした。